

2020年シーズンがようやく始まった。 最初の戦いの舞台となったのは、長野県須坂市。ラリーチャレンジ第10戦須坂峰の原だ。 昨年デビューをした大野・山口ペアがクラス表彰台を目指して挑んだ。競技の拠点としてスタート・ゴールやサービスパークとなるのは長野市にあるオリンピック記念アリーナ「エムウェーブ」。競技はそこから 15km ほど移動した須坂市内の林道およびグラベル(未舗装)コースを使用しての実施となった。セレモニアルスタート後、SS 1・SS2(舗装路)は上位に食い込むタイムを記録し好調な大野・山口ペアだったが、難関の SS3(未舗装路)では、強烈な濃霧と練習不足が懸念されたグラベルコースに苦戦し区間 7 位に終わる。午後からの SS 4・SS5(舗装路)ではドライ路面とウェット路面が入り混じる中、好調な走りを見せ区間上位に食い込むタイムをマークするも、最終 SS 6 (未舗装路)では前半と同じくグラベルコースに苦戦し区間 8 位でフィニッシュする。結果は C-3 クラス 4 位 / 総合 24 位とい結果に終わった。クラス表彰台は叶わなかったが、次回へ向けて大きな手応えを掴めた戦いだった。



86/BRZ Race プロフェッショナルシリーズ Rd.8・Netz Cup Vitz Race 関西第 4 戦 in 岡山国際サーキット

